

★2018 年度地質の日記念事業 第 7 回街中ジオ散歩 in Kawasaki

「多摩丘陵の 100 万年を歩く」 徒歩見学会

身近な地質とその地質に由来する地形について、それらを利用してきた先人から現在の私たちまでの営みを、専門研究者の案内で楽しく学ぼうという企画です。今回は、都心に比較的近い場所で自然露頭が多く残っている川崎市の生田緑地公園を散策し、多摩丘陵の構成層を観察します。公園内では、泥岩層、砂礫層、火山灰層（テフラ層）が観察でき、これら地層を観察することで、この地域がいつどのようにできたのか学ぶことができます。また、公園内にある高台（枅形山）の展望台より関東平野一円を眺め、武蔵野台地、多摩丘陵の成り立ちを学びます。初夏の清々しい空気の中を、楽しく“ジオ散歩”したいと思います。

主催：一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本応用地質学会

後援：川崎市教育委員会、一般社団法人東京都地質調査業協会

日時：2018 年 5 月 13 日（日）9:45～16:00 小雨決行（予定）

見学場所：神奈川県川崎市多摩区生田緑地公園内

案内者：山崎晴雄氏（首都大学東京名誉教授）、

増渕和夫氏（元かわさき宙と緑の科学館）

会費：高校生以上・一般：2,000 円、小・中学生：500 円（保険代、入場料含む）

（注）参加費は、当日現金をご持参ください。昼食は各自ご用意下さい。

※やや急な坂や足元の滑る場所が多くある、健脚の方向けのコースです。

集合場所・時間：かわさき宙と緑の科学館（生田緑地公園内）前 9:45 集合

見学コース（予定）：10:00 かわさき宙と緑の科学館見学（剥ぎ取り試料、ボーリングコア）→科学館南側の露頭観察（飯室層、ウワバミテフラ）→不整合の大露頭→昼食（科学館自由観察）→科学館北側の露頭観察（飯室層中の化石、噴砂跡、おし沼砂礫、立川ローム）→枅形山（地形観察）→崩壊地形→横穴古墳→アシカ化石発見露頭前解散 16 時ごろ

募集人数：30 名程度

対象：小学生以上（主催団体の会員の申込も可）。ただし、小・中学生の方は保護者の同伴をお願いします。また、本行事は一般向け普及行事ですので、非会員の一般市民の参加を優先します。定員を超えた場合、会員は若干名とさせていただきます。また、夫婦、友人など、グループでの参加希望の場合は、それぞれの備考欄に代表者名を記入してください。グループでの応募は、本人を含め最大 4 名までとします。

申込受付期間：2018 年 3 月 31（土）～4 月 10 日（火）（申込者多数の場合は抽選を行います。結果は 4 月中に郵送で全員にお知らせします）

申込方法：学会 HP の申込み専用フォームまたは，FAX にてお申込み下さい。

【申込み専用フォーム】 <http://www.photo.geosociety.jp/geosanpo2017.html>

【FAX の場合】 記入事項 1～6 をすべて記入願います。メール等がない場合は“なし”とご記入下さい。 1. 氏名， 2. 自宅住所（郵便物を受け取れる住所）， 3. 携帯等電話番号， 4. メールアドレス， 5. 生年月日， 6. 性別

（注）小・中学生の申込の際は， 1， 5， 6 について保護者の情報も明記して下さい。また，学生の方は学年のご記入をお願いします。

申込・問い合わせ先：一般社団法人日本地質学会（担当 細矢）

電話：03-5823-1150 FAX：03-5823-1156

メール：main@geosociety.jp

HP： <http://www.geosociety.jp>

\* 学会 HP にて情報を更新いたします。そちらもあわせてご確認下さい。